

退職校長会釣りクラブ



千代田会釣り部通信

No, 203

2022・7・1

編集 齋藤徳藏 発行 町田静隆

新入会員歓迎 「ニジマス釣り会」のお知らせ	世話人会	1
解説 「イサキ釣り」	世話人会	2
第2回「アジ釣り会」特別会1泊イサキ釣り会に中止のお詫び	世話人会	3
第3回 「LT五目釣り会」のお知らせ	世話人会	4
第4回 「イナダ釣り会」のお知らせ	世話人会	4

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ 世話人会

九月は海は暑いので、涼しい渓流釣りを計画しました。
貸し竿を利用するので、クーラーボックスタケだけ持参すれば
OKです。ニジマスを釣つた後、じぱいで、大きなお風呂
に入浴（タオル持参）し、昼食も兼ねて歓談します。

記

一、期日 八月二日（火）

小雨決行

二、釣り場 大月（金の森山荘）

山梨県大月町真木六一八八

電話 ○五五四・二三・一〇二

三、集合 中央線 高尾駅 七時四七分→大月駅 八時二八分
大月駅改札口付近 八時四〇分 バスで「金の森山

荘」へ向かう。

四、参加費

八五〇〇円（マス釣り・貸し竿・仕掛け・エサ・氷・
入浴・食事・ビール代込み）※新入会員五〇〇〇円

五、内容

・ニジマス釣り 九時十分～一一時三十分

・マスのさばき・入浴 一一時四十分～一二時三十分

・食事・懇談 十二時三十分～十三時三十分

十三時四十分 送迎バスで大月駅に向かう。

六、釣り方

指定されたダムで釣る。（十匹くらい放流してくれる。）ハリにエサ（イクラ三粒、またはブドウ一
匹）をつけ、底をたたくように上流から流す。よどみやたまりで釣れることが多い。釣れなくなったら、上
流、下流の人のいない場所で釣る。申し込みはがきで



解説 「イサキ釣り」

世話人会

イサキ釣り会が中止になり、残念です。そこで、イサキについて解説いたします。

イサキで十五cm以下の幼魚は、イノシンに似た三本の縦じま模様があり、ウリンボウと呼ばれます。成長すると、しま模様は消え茶褐になります。

イサキ釣りの魅力は、何と言つても強い引き味。いきなり竿先が持ち込まれるようなアタリが出るので、初心者は驚くことが多い。

釣り期は、春から秋（六・七月はエサ追いも活発で食べても美味しい）。「イサキはタナを釣れ！」と言われるように、正確なタナで釣ると釣果が上がる（リールのカウンターは狂いが多いので、道糸のマークで水深を計る）。

釣り方

オキアミの尾を取つてハリに腹掛けにする。

サミングしながら仕掛けを下し、指示ダナの二～三m下で止める。下を向けた竿先を強く上下させてコマセを出し、ゆっくり竿を上げて仕掛けを撒いたコマセの中に入れる。アタリが無ければ竿先を下げて一m分リールを巻き、そこでコマセを撒く。これを繰り返し指示ダナの二～三m上まで探る。



アタリと合わせ、取り込み

アタリは竿先に強く出る、静かに竿を持ち上げるとハリ掛かりするので、あとは、ゆっくり一定の速度でリールを巻く（イサキは口が弱いので、強引なやりとりは禁物）。水面近くまでイサキを上げてきたら、竿掛けに竿を置き、手で糸を手繰り寄せてコマセ籠をコマセの入った器に入れる。この時にイサキに強く引かれたら、無理せずに、少し指の間で糸をすべらせながらやり取りをして、ゆっくりと取り込む。足もとにバケツを

用意し、針に掛つた

三四の魚の一匹は

バケツの先に置き、

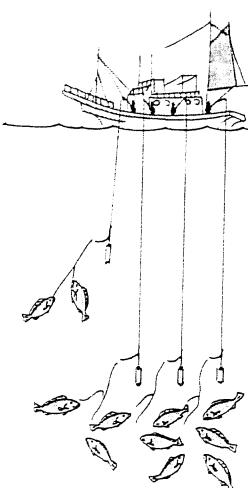
二匹目はバケツの中に入れ、三匹目は

バケツの手前に置き、糸が絡まないようにする。

針からはずした魚は海水の入ったバケツに入れ、生きているうちに水と少量の海水（海水を入れると〇度以下になる）の入ったクーラーボックスに移す。

・塩焼きで食べる

下処理は、きれいにウロコをそぎ落して洗い流し、エラと内臓を取り出す。大きめのサイズなら、三枚おろしにして、小骨は毛抜きを使って抜き、刺身にする。頭を付けたまま塩を振って塩焼きで食べると美味しい。焼くときには、裏表に包丁で切り目を入れておくと、火が通りやすくなる。イサキの皮は堅いので、取つてから食べるのがよい。



令和四年度 第三回「アジ釣り会」 特別会「一泊イサキ釣り会」
中止のお詫び

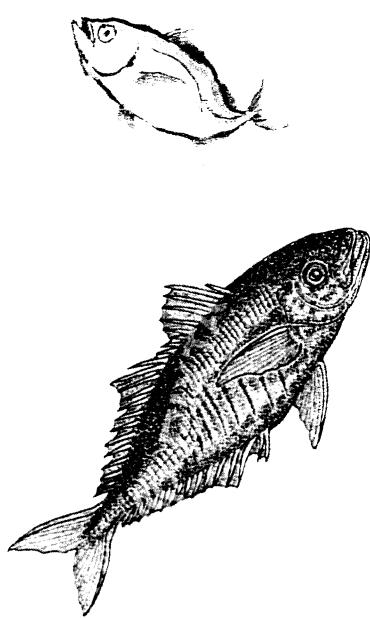
町田 静隆

まず、五月十三日に予定しておりました第三回「アジ釣り会」の中止に至った経緯をご説明し、改めて参加を希望された会員の皆様へのお詫びを申し上げます。

今回の「アジ釣り会」は、一年年の荒川屋の半日乗り合いでの実施と違い、金沢漁港の黒一丸での仕立て釣りで実施の予定でした。しかし、週間天気予報を見るに、十三日は、一回中雨の予報となっており、会員の何人から天氣の悪さを理由に、不参加の連絡をいたしましたこともあり、世話人とも相談して、中止を決定しました。本釣りクラブは、超高年齢集団ですので、一日中雨に打たれての釣りとなれば、体調不良をきたす可能性も高く、雨では釣果も期待できません。何より、釣りは晴れた海の上で爽快さを味わうためのものです。したがって、やむなく中止の決断をいたしました。

コロナがほぼ収まって、二年ぶりの釣り会を期待されていた会員の皆様には誠に申し訳ないと想い、お詫び申し上げます。

そこで、六月の一泊イサキ釣り会に期待しておりましたが、一泊での釣り会は、最近とみに入気がなく、参加希望者は四名のみでした。ところが、釣行の一週間ぐらい前になつて、そのうちのお一人から参加できなくなつたという連絡をいたしました。人数が四人以下になつた場合、船宿にもう迷惑をかけるからだ、その釣り



は、中止にするという世話入会の申し合わせもありますので、爪木丸に連絡を入れ、中止の申し出をしました。なお腰越の秋田屋でも、仕立てで出るなら最低六人は集まつて欲しいと申し入れがあります。四人以下の仕立てが可能なのは、金沢漁港の「黒一丸」だけです。ただこれも燃料代の高騰でいつ変わるか分かりません。

以上がイサキ釣りの中止となりました経緯です。

こちらも参加を希望されていた会員の皆様を裏切ることになり、申し訳ありませんでした。

なお、本会報にも二案内がありますが、七月の上旬五日釣り会は、すでに秋田屋に予約の連絡を入れてあります。会員の皆様の振るひでの参加をお願いいたします。また八月の三ジマス釣り会は、涼しい溪流での釣り会やおいしい昼食や温泉も味わえます。会員以外の方にも声をかけていただき、ぜひ、盛会にしたいと思います。

また、九月のイナダ釣りでは、日並みが良ければ、二時間ぐらいでクリーラー満杯の入れ食いの釣りが楽しめます。（ちなみに一年がそうでした。）こちらもぜひ大勢の参加をお願いいたします。

LT(ライトタツクル)で、この時期釣れる魚をいろいろ狙います。アジの大型や、運が良ければアマダイの良型が釣れることもあります。本命が決まっていない釣りだけに、何が釣れるか期待は大きいです。

ブリで四十センチくらいに成長したものをイナダといいますが、引きが強く、食べておいしい魚です。回遊に出会うと、たくさん釣れるので楽しみです。

一、期日 七月十二日(火)

記

一、期日 九月十二日(月)

記

二、船宿 腰越「秋田屋」電話 ○四六七・三一・一一八九

-4-

二、船宿 腰越「秋田屋」電話 ○四六七・三一・一一八九
江ノ電「腰越」徒步七分で腰越漁港へ

三、集合 小田急「片瀬江ノ島」七時二十分

4

三、集合 小田急「片瀬江ノ島」七時二十分 送迎あり

四、参加費 一二・〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み)

五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。

六、釣り具 竿(負荷四十号)。中型リール。中型片テンビン。

七、釣り方 竿掛け。サニーラン。おもり四十号。

左に示した対象魚の水深でコマセをまき、アタリを待つ。表層付近・ワカシ、ソーダガツオ、カツオ

底から十五メートルまで・イサキ、イシダイ、アジ、サバ

底から三メートルまで・マダイ、クロダイ、アマダイ

※ 申込書 同封のハガキで申し込んでください。



千代田会釣り部通信

2022・10・1

編集 齊藤徳藏

会長 町田静隆

随想	K先生のこと	町田静隆	1
第4回	「イナダ釣り会」の報告	世話人会	2
お詫び	各種釣会中止等のお詫び	世話人会	3
第47回	「アジ釣り大会」の案内	世話人会	4
第5回	「アマダイ釣り会」の案内	世話人会	4



K先生のこと

町田 静隆

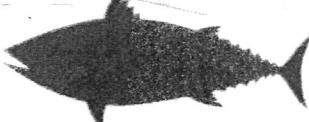
私の一番の趣味は、海釣りである。人生で最も印象的だったことは本当に幸せないといふ、思つてゐるので、その出来事について、お話をした。

以前から漠然と釣つをしたいという願望はあったが、きっかけがあれにいた私は、平成元年四月、江戸川区の都立高校に異動した時、国語科の先輩のK先生に出会ったのである。K先生は釣りのエキスパート、それも中巻半端な釣り好きのレベルではなかつた。幼稚園児のお子さんが、「お父さんの仕事を絵にかきましょ。」とこう課題に、教師の絵と漁師の絵を両方描いたところから、釣りにのめり込んでくる人であつた。全くの初心者であつた私は、一から教えを乞ひたことがでかい姫匠に出会えたのだ。道具の選定から魚のさばき方まですべて教わつて、K先生に同行させていただき、最低限一回ペースで釣りに岡かけるようになつた。体育科と社会科の動向がいたので毎回四～五人での釣行であつた。ホームベースは鎌子の「透密丸」という船宿で、ハナダイやイナダ・カンパチなどの青物が本命であつた。それ以外でも、神奈川の早川や、三浦半島、房総の布良や竹岡、にも出かけた。魚種も真鯛、カツオなどを中心に出かけた。

平成十一年、管理職要因となり異動した後、管理職時代の合計十五年間は、釣竿をしまつたままになつたが、平成二十五年に定年退職すると同時に、東京都退職校長会の釣り部に入会し、十五ぶりの釣りを開いた。

釣りクラブでは、月一回のペースで釣り会を行つており、金沢八景や浦安などの近場から、船を立てて、アジやシロギス、イシモチなどを釣つに出てかけてくる。年一回は伊豆の下田まで一泊の釣り会も行つてゐる。一昨年四月からはクラブの委員長を仰せつかり、日々釣りの計画を練つてこねていつてある。

釣りが好きな方、三十年前の私と同じ様にやりたいと思つながらその機会がない方、校長でなくても、同行の士は運営費として歓迎しますので、どうかご連絡ください。



第四回 「イナダ釣り会」 報告

世話人会

本年度になつて第一回シロギス釣り会から、特別会 新入会員歓迎会「ニジマス釣り会」までコロナ禍のため、また天候不順のため、五回すべて中止になつた。九月一二日(土)第四回「イナダ釣り会」が予定されている。町田会長からのお知らせでは一〇人の参加予定である。久しぶりの大人数で嬉しい。しかし一日ぐらい前から沖縄の方で大型台風が猛威を奮つてゐるニュースが流れている。「今回もだめかな」と半分諦めてしまう。中止の知らせが来ないのを願いながら準備をした。

三時過ぎに起き、外を見た。雨は降っていない。風も殆どない「よし!これならできる」と思い支度をする。四時半に家を出で電車に乗る。五時頃明るくなつてきた。二日前の中秋の名月がまだ丸く美しい。鎌倉で江ノ電に乗り換える。七里ガ浜で観る海原は波もない。腰越で下車し漁港に着く。まだ七時前だが六名の方が来てゐる。お二人の方が急用で来られず、八人の参加者である。新聞を見ると相模湾では今シーズンはまだイナダは釣れていない。しかし今朝のスポーツ新聞釣り欄では、腰越でイナダが一~十一匹が釣れているとでている。期待を持てそうな気がする。

八時十五分出船、富士山、江の島が並んで美しく見える。九時頃釣り場に着く。イナダを狙つてゐるようだ。興奮してきました。第一投、間もなく、軽いアタリが来た。上げてあるうち、重さを感じなくなりばらしたかなと思つたが二十cmぐらいのイトヨリダイが上がってきた。その後ほぼ全員と言つていいくらいいろんな魚を

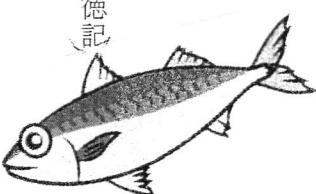
釣り上げている。サバが多く釣れている。あちこちでバタバタと跳ねる音がする。その分お祭りも多い。私も町田会長に何回も迷惑をかけた。アジも多くつれている。殆どが三十cm前後の大物で、黄金トヨリダイも多く釣れた。本命のイナダも多く人が釣つているよう思えたが、集計表を見るとどなたも釣つていないのは意外だった。十一時半頃まで同じ場所で釣つたが、必ず誰かが、何かを釣つているぐらい好調であった。

その後二か所釣り場を変えたが初めての場所ほどの釣果はなかつた。一時前に終了、帰港後、反省会を行つた。本命のイナダこそ釣れなかつたが、多くの釣果と、久し振り釣り会ができたことに全員満足気であつた。

十月十四日(金)第四十七回アジ釣り大会には多くの人を誘つて再会しようと約束して解散した。

※追記 自慢しようと釣つた魚を台所に並べたが、今話題の『アニキサス』のため歓迎されなかつた。しかしシメサバ、みそ煮、塩焼き等、サバを料理したが驚くほど美味であつた。

釣果	田中	イトヨリダイ2	カイワリ1	アジ2	サバ6	他
	大山	アジ5	イトヨリダイ3	サバ7		
釣座	右舷	大山	齊藤	町田	田中	
町田	アジ5	サバ6				
左舷	藤本	佐藤	佐藤	岩森		(齊藤 德記)



令和四年度 「一泊イサキ釣り会」・第三回 「ＬＴ五目釣り会」・
新入 会員歓迎「ニジマス釣り会」 中止のお詫び

町田 静隆



六月十二・十三日に予定しておりました一泊イサキ釣り会ですが、今回三名の参加希望者しかなく、三名以下での釣行は中止するといふ内規に従つて中止やむなきに至りました。さらに七月十一日(火)に予定していました「ＬＴ五目釣り会」及び、八月六日(金)に予定しておりました、新入会員歓迎「ニジマス釣り会」を中止した経緯について、説明とお詫びをいたします。

今年の「ＬＴ五目釣り会」は一昨年同様、腰越の秋田屋から出漁の予定でした。また「ニジマス釣り会」は昨年同様、山梨県大月の「金の森荘」での実施予定でした。

しかし、新型コロナウイルスのデルタ株による第七波といわれる感染拡大に伴い、長時間の移動を伴う移動や会食を伴う釣り会の実施はどうかという会員の方々の声も大きく、こちらも中止のやむなきに至りました。

幸い、九月に実施する「イナダ釣り会」では、日並みが良ければ爆釣というイナダ釣りは毎年会員の皆様の期待も大きく、今回も久しぶりの十人の参加希望をいたしました。都合により二名のキャンセルは出ましたものの、詳しくは齊藤会員の報告に譲りますが、八名参加での釣り会を実施できました。今年度になって、第一回「シロギス釣り会」以来、理由は様々でしたが、すべての釣り会は実施できず、フラストレーションが溜まりに溜まつてお

りましたのを、ようやく解消できた気分です。

十月には、第四十七回となる「アジ釣り大会」があります。また、十一月には、「アマダイ釣り会」がありますので、ぜひご参加いたいと思います。(それぞれの会のご案内がありますので、ご覧ください。)

会員の多くの方々も、四回目のワクチン接種が進んでいると拝察いたします。安全な釣り会となりますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

訃報

千葉 康算様におかれましては七月十日

ご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

千葉先生には長年 千代田会釣りクラブ世話人としてご活躍いただきました。特に会計担当としてご尽力されました。

ありがとうございました。

第四十七回 「アジ釣り大会」案内 世話人会

世話人会

第五回 「アマダイ釣り会」案内 世話人会

世話人会

今年も千代田会釣り会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ「黒一丸（くろかずまる）」です。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

一、期日 十月十四日（金）

小雨決行

二、船宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景下車、車で一〇分

（送迎あり） 電話 045・781・0691

駐車料 一日三〇〇円？

三、集合 七時三十分 電車の方は、ローソン前七時二十分

四、参加費 一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、携行品 クーラー・昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル。

六、釣り具 クーラー・昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル。

七、釣り方 竿（L.T.用。貸し竿有り）中・小型リール。竿掛け

イワシミンチ用コマセ籠（三十号）中型方片天秤。ゴムクッショーン（三十cm）。

八、表彰 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセ籠にミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二

m巻き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり巻き上げ取り込む。

※ アジの数で一位～三位。大物賞三名 アジ以外の魚種

※ 申し込み 同封のはがきに六十三円切手を貼り申し込む。

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣ることは難しい魚種ですが、それだけ釣り心をそそる魚です。三枚において昆布で一晩締めたさしみのおいしさは格別です。

記

一、期日 十一月十一日（金）

小雨決行

二、船宿 腰越「秋田屋」 電話 0467・31・1289

① 江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

② 小田急「片瀬江の島」七時二十分

送迎あり

三、集合 七時三十分

四、参加費 一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、携行品 クーラー・昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル。

六、釣り具 竿（負荷五十号）。中型リール（電動があれば望ましい）中型片テンбин。竿掛け。サニー籠。錘五十号

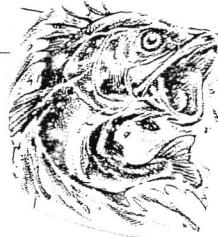
アマダイ釣りは、コマセを使わず、片天秤仕掛けで釣る。オキアミのエサをつけて投入。海底近くを狙うの

で錘が底に着いたら誘いを兼ねて、ハリスの長さだけ

これがひとつようです。

※ 同封のハガキで申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ



千代田会釣り部通信

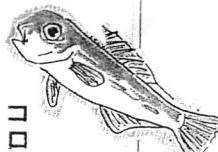
NO, 205

2022・12・1

編集 齊藤徳藏

会長 町田静隆

第5回	「アマダイ釣り会」の報告	世話人会	1
第47回	「アジ釣り大会」の報告	世話人会	2
1泊	「ワラサ釣り会」の案内	世話人会	3
第6回	「ワカサギ釣り会」の案内	世話人会	3
釣り部	「研究・懇談会」の案内	世話人会	4
編集委員より	お願い 釣り情報	世話人会	4



第五回 「アマダイ釣り会」 報告 世話人会

コロナの感染者は減らないが、天気予報は好天と述べていた。
十一月十一日朝、腰越港の駐車場で参加者が、釣りの話などで盛り上がり
がっている。

七時二十分、市川、岩森、田中、鳥海、町田、藤本の六名が集合。
七時三十五分、出船。晴天で温かく、風も弱く、波も小さかった。
富士山は、うすい靄がかかつていて雲ひとつなくきれいに見えた。
遠くに七隻の釣り船が見える。

七時五十分、江の島沖に到着。近くに江の島が見えた。船長の合図
で第一投。反応は無く、八時五分、初めてのアタリでシロギス
の大きいのをゲット。八時十五分、アマダイの小をゲット。

八時三十分、船は移動を開始。アタリが無く、三回移動を
繰り返す。江の島がどんどん遠くなっていく。その後、カレイ
イトヨリダイ・アマダイをゲット。十二時の異動後、アマダイや
イトヨリダイが沢山釣れた。少し早いが、十二時三十分沖上がり。
貧漁であったが、全員アマダイをゲット出来て良かった。

魚は、さしみ・塩焼き・煮物で食べた。妻が「おいしい」と言った。
(秋田屋は、腰越港の中の小屋で受付や案内をし・駐車料も返金して
くれたが中止。また釣りの後、お茶やお菓子で接待も中止)

釣果 アマダイ 鳥海・藤本 (5) 岩森・田中 (4)
外道(船中) イトヨリダイ (9) カレイ (3)
サバ (3) マゴチ (2) カレイ (2)

右舷 市川・町田・鳥海 左舷 藤本・田中・岩森

(藤本記)



第四十七回 「アジ釣り大会」報告

世話人会

十月十四日、金沢漁港内の「黒一丸」に仕立てをお願いしてアジ釣り大会を開催した。

コロナ禍で不安もないわけではないが、まずは開催できることが何よりも嬉しいこと。今年になつてからは九月のイナダ釣りに次いで二日目になるが、

このアジ釣り大会は歴史のある特別な大会で、より気合の入る釣行の一つである。今回は七人の会員が参加した。

当日の朝、天気予報に違わず小雨だったが、七時半過ぎに全員が揃つたころには雨も上がり、開会式。町田会長の挨拶に続き藤本会員から競技上の諸注意が伝えられ開会式が終了。氷をクーラーボックスに入れて八時頃に出港。新しい船で前後にトイレがある。使いやすそうだ。

出港後まもなくして最初の釣り場に到着した。例年通り、針先にはイソメをチヨン掛けしてコマセを撒く。一投目から着底と同時に引きが入る。コツコツと当たるので今日は釣果が期待できそうだ。ただ予想外のことが多々あるもので厄介なことが…、何と底にはフグが多いらしく、とにかく着底と同時に引きがあつても糸を切られることが重なり仕掛けを六回も付け替えなければならない羽目になったこと、それに併せて船のローリングが激しく船酔いに悩まされるようになつた。この二重苦を抱えながらの釣行になつた訳だが、同じ右舷に席をとる斎藤会員と藤本会員を見ても淡淡と釣りに集中している様子で、船べりに這いつぶかりながら自分のこともできない状態で申し訳ない気持になりました。

昨年のアジ釣り大会では比較的小ぶりのアジが多かつたように記憶していますが今回は大型のアジがよく釣れている。最初の釣り場から移動して次の釣り場へ。やつとフグから解放されて糸が切られることが無くなつた。早速、町田会長が三十分子オーバーの大アジを釣り上げた。田中会員は順調に釣果を伸ばしている。斎藤会員は見事な真鰯を釣り上げた、何と一本針での釣果だったとか…。

今回の釣りを通して棚のわざかな違いがアジの釣果に影響したように感じます。棚どりは本当に大事で、私の感覚ではおそらく一、三メートルから二、六メートルあたりでアジがよく釣れたような気がするものの、ただ底の起伏が激しいことや潮の流れが速かつたりで底どりがなかなか難しかつた。

今回の釣り場は二ヵ所、一時過ぎには納竿、一時二十分ころに帰港した。二人が一組になつて釣果を確認し記録用紙に記入する。続いて閉会式。藤本会員から本日の結果発表。町田会長が一位から三位の会員に賞品の盾を授与。今年優勝したのは藤本会員で感想を話していただきました。最後に斎藤会員から講評をいただき閉会式が終了。

皆様、お疲れ様でした。

帰宅後に早速アジをさばく作業開始。大型のアジは調理やすい。刺身、タタキ、塩焼きも美味しいが自家製の干物が最高。十%ほどの塩水に一〜二時間ほど漬け込んでから一日ほど陰干しにする。美味しさが凝縮した

鮎色の絶品に…。骨まで食べられる。苦しかつた船酔いも忘れて今度は美酒に酔う。そして来年はコロナ禍が終息し、また開催できることを願う。

お世話になつた黒一丸の皆様、有難うございました。

・成績発表 (藤本) ①藤本十八 大物賞 (フグ) 田中・(真鰯) 斎藤・(アジ) 町田

・成績発表 (藤本) ②鳥海十六 外道賞 大物賞 (フグ) 田中・(真鰯) 斎藤・(アジ) 町田

・成績発表 (藤本) ③市川八 外道賞 大物賞 (フグ) 田中・(真鰯) 斎藤・(アジ) 町田

(なお、昨年の入賞者は今年は釣果にかかわらず入賞の対象外になります)

(左舷) 田中・藤本・若森



十二月はワラサ（六十cm級）の回遊魚が期待できます。運悪く回遊していない場合は、いつでも大量のイサキ釣りに変更します。

記

昨年は強風のため、やむなく中止しましたが、改築なったブルー

爪木での、おいしい夕食と気持ちいい温泉付きです。

記

一、日 時 十二月十一・十二（日・月）

二、集 合 東京駅 九番線 踊り子一一五号 一号車指定席

東京駅（十二時〇〇分）→横浜（二二時二四分）→小田原（十三時一分）→下田（十四時四十八分）

三、参加費 二三〇〇〇円（宿泊費、乗船料、仕掛け・氷代）

四、携行品 ケーラーボックス。一四日の朝食。飲み物。他

五、釣り具 竿（負荷九〇号）。電動中型リール（電源は船に有）

サニー籠百号（無料貸し出し有）。大型天秤。
ゴムクッション（三ミリで一メーター）

六、釣り方 指示されたタナより一畳下ろし、コマセをまいてタナまで巻き上げる。そこでコマセをまいてアタリを待つ。アタリがあつたら、ゆっくり巻き上げ、網ですくう。

※ワラサ釣りに参加を申し込まれる方は十二月六日

までに町田先生に直接電話で申し込んでください。

※ワカサギ釣りを申し込まれる方はハガキで申し込んでください。

寒い一月は、温かいドーム船でワカサギ釣りをすることになります。した。ケーラーボックスだけで参加できます。

記

一、日 時 一月一七日（火）

二、場 所 河口湖ドーム船・浅間丸〇九〇一八八七八一四四二三
山梨ハイヤー ○五五五一一一八〇〇



（帰り）川口駅（一三・三〇）→高尾（一五・二〇）

乗り換え（一五・三〇）→東京（一六・三〇）

三、参加費 九〇〇〇円（乗船料・釣り道具・エサ・タクシー代込）

四、携行品 防寒服装 ケーラー（氷持参）昼食 飲み物 タオル

①餌を付け、投入し、錘を着底させる。五センチくらい持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがなければ、竿先を十センチ位の幅で上下させる。（シェイキング）。誘いを十秒位続けたらピタツと止め、食いつくタイミングを与える。③アタリがない場合はタナを一〇～一〇センチ上げてシェイキングを繰り返す。

六、料 理 そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

会場は、池袋南口（東武デパート南口）の「IKE・BIZ」（元の勤労福祉会館）です。一年間コロナ禍で実施できずになりましたので、皆様も積もる話もあると思います。

内容は

- ・今年の釣り会の状況報告

- ・会員の皆様の一言

- ・魚介類のクイズ（一位から三位、商品あり）

- ・来年の釣り会への要望等

の話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまいますので、会員の皆様のさまざまなお意見を伺いたいと思っております。

記

一、日 時 令和五年二月四日（土） 十三時～十六時

二、会 場 IKE・BIZ（池袋駅より徒歩十分）

電話○三一二九八〇—二二一一一

三、参加費 二千円（飲み物、お菓子代等）

当日会場で徴収させていただきます。

木更津沖、川崎沖が漁場だそうです。私も挑戦したいなと思う時があります。200匹とはいからくとも夢の一束超えに挑戦してみた
い気がします。

※ 申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

同封のハガキは、前号（会報20号）と一緒に送ったものです。
今号も原稿が足りず、どなたか送つてくださるかなとお待ちしていましたが一通も来ませんでした。大変困っています。よろしくお願ひします。今後原稿が足りない時は、今まで掲載した、原稿の中から選んで再度掲載することもあります。ご承知ください。
サンケイスボーツ新聞の釣り欄から気になつてている船宿の釣り情報をお届けします。

今浦安・行徳地方のアジ釣りがすごい！

吉野屋（浦安・電話○四七一三五一一五四四）タチウオ・インモチ釣りで行つた船宿です。**アジ15～48cm・80～210匹**

伊藤遊船（行徳・電話○四七一三五八一五七七四） ボートでハゼ釣りをする船宿で有名です。**アジ15～34cm・48～211匹**

スミイカ、カサゴ等もやつていますがアジの釣果は驚くほどです。
十一月二十六日のサンケイスボーツの記事です。特に伊藤遊船は
ここ十日間アジの釣果は同じように続いています。

木更津沖、川崎沖が漁場だそうです。私も挑戦したいなと思う時があります。200匹とはいからくとも夢の一束超えに挑戦してみた
い気がします。



千代田会釣り部通信

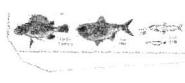
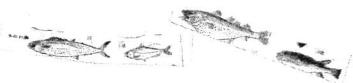
NO, 206

2023・3・1

編集 齊藤徳藏

会長 町田静隆

釣り部 「研究・懇談会」の報告	世話人会	1
第6回 「ワカサギ釣り会」の報告	世話人会	2
クイズ 「魚・魚類に関するクイズ」	世話人会	3
1泊 「ワラサ釣り会」中止のお詫び	世話人会	3
第7回 「イシモチ釣り会の」お知らせ	世話人会	4
令和5年度第1回「シロギス釣り会」のお知らせ	世話人会	4



釣り部

「研究懇談会」

報告

世話人会

二月四日 釣り部 「研究懇談会」を実施した。

三年ぶりに来た「IKE・BIZ」は大変美しい。参加者は町田会長・藤本・鳥海・蔵本・市川・齊藤徳の会員、六名である。

鳥海会員の司会で、藤本会員の始めの言葉、町田会長のあいさつ、そして乾杯と進んだ。横浜崎陽軒のシユウマイ弁当と一緒に、ビールでお腹と喉を潤した。大変おいしい。雑談から、自然に本題へと進んだ。二ページに町田会長が記しているが、始めて実施できたワカサギ釣りが話題になった。参加者の藤本、町田氏の話を他の会員が羨ましがって聞いていた。次の話題が釣り会の事である。

船宿はどうするか、釣りの参加者が減ってきた現在では、少人数でも仕立での実施が基本である。町田会長が交渉で苦労している点である。釣りの参加者を増やすこと、部員を増員以外に考えられないが、大変難しい。海釣り公園等の丘釣りや、ボートでのハゼ釣り等もでたが結論には至らなかつた。「二月二一日クラブ委員長会を実施するが第二回会員研修会(11／17)でクラブ発表会を提案したい。部員を増やすためにも発表応募して欲しい」の声もでた。

釣る魚種はアジ、イナダ、は参加者が割と多い。シロギスつりも無理がきていて実現できる。他は今後も検討していくことになった。

本年も藤本会員の出題の「魚・貝類のクイズを」実施した。
一位、町田氏 二位(同点数) 蔵本氏 鳥海氏だった。大変楽しかったので、別なクイズを作つてもらつた(三ページ)。挑戦をしてください。
やや少人数だったが充実した楽しい会だった。



一月一七日（火）に、「ワカサギ釣り会」を行つた。昨年度も一昨年度も実施予定ではあったのだが、コロナ禍でいずれも取り止めとなつていて、今年度初めて実施する会であった。七時二六分出発の河口湖直行の電車に乗り込んだ。高尾から大月まで約一時間というのんびりした電車旅となつた。幸い天候は快晴で、富士山が間近に見える。素晴らしい釣り日和の天氣となつていた。

河口湖に着くと、予約していたタクシーに乗り込み、河口湖大橋の駐車場に乗り付けた。岸には船長が待つていて、モーターボートに乗つて約二三分でドーム船に着いた。この釣りのいいところは、暖房の効いたドーム型の船から釣れるということなのだ。

船には三人の釣り座が用意されていて、藤本会員、岩森会員、それと私が並んで座つた。係の人から釣り方を教わる。針はすでにエサ（サシ、ハエの卵を赤く着色したもの）が付いていて、そのまま糸を出して、着底したら糸ふけを取つてしばらく待つ。すでにブルブルという当りがあり、ちよつと合わせて追い食いを待つ。巻きあげると、ワカサギをクシ状のところにかけ、糸を引っ張るとそのままワカサギが下に落ちるという仕組みであった。十時前くらいから釣り初めて、すぐ二十四くらいかかった。

ただ、ハリとエサが小さいので、エサを付けるのが大変だった。

眼鏡を外して近づけないと、ハリがどこにあるか分からぬ。また仕掛けも細くて、油断するとすぐに手前祭りして、ぐしゃぐしゃになつてしまふ。また、回遊性なので群れがいなくなると、

しばらく当たりが止まる。その繰り返しで、三人とも、三、四十四は釣つたであろうか。

一二時半に下船しようとするが、船長が定置網で捕つたというワカサギをクーラーにどつと放り込んでくれ、その結果、何匹釣つかは、わからなくなつてしまつたのだが。



帰りは河口湖で、特急に乗り込んだ。富士山のビューポイントではゆっくりと走つてくれて、また富士山を堪能した。

家に帰ると、そのまま片栗粉を付けてから揚げにし、そのまま食べた。

ワカサギのいいところは、

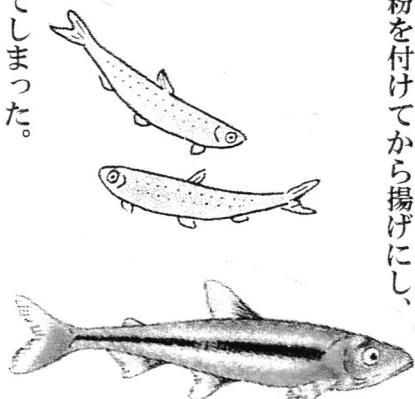
内臓やうろこを取る必要が

なく、全然手間がかからないところだ。

半分はそのまま酒の当てにし、

残り半分は

佃煮にして翌日には全部食べてしまつた。





魚・貝類のクイズ

藤本

特別会 「一泊ワラサ釣り会」 中止のお詫び

世話人会

上の魚や貝の名前の語源は、下のどちらが当てはまるか、() に記入して下さい。(解答・解説は次号で)

鮫	()	鰯	()	鰯	()	鰯	()	鰯	()
（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
早目	漁る貝	弱し	狭真魚	青葉	朝地	堅魚	大威	平魚	
狭目	浅利	岩生	参魚	小齒	味	縮貝	眼黒	間黒	
						潮地味	活魚		

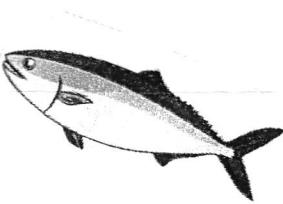
十二月に予定しておりました「一泊ワラサ釣り会」が中止となりましたことへのお詫びとご説明をいたします。

コロナ前までは、早朝の日帰り釣り会よりは肉体的に楽だという理由で、特にご高齢の会員の皆様には好評だった「一泊釣り会」ですが、高齢を理由に退会された理由の増加や、ご逝去された会員もおられ、一泊釣り会はとみに参加希望者が減つておりました。昨年十一月の参加希望者もわずか三人だけでした。

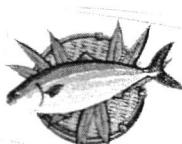
したがって、三人以下は釣り会を行わないという内部規定に引っかかり、やむなく中止しました。

このままでは、一泊釣り会そのものが毎回中止となりかねないと危惧おります。

何かこれと違う釣り会の考える時期に来ているかもしません。また広く会員のみなさまにご意見をうかがつて対応しようと考えておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。



(町田記)



第一回「シロギス釣り会」のお知らせ

世話人会

令和五年度最初の釣り会はシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みの良い日は百匹（一束）釣りも可です。昨年同様、横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期日 四月十四日（金）

二、船宿 横浜、新山下「広島屋」 みなとみらい線 元町・中華街駅（徒歩五分）横浜市中区山下一一三一六

電話 ○四五・六二二・八六一五

三、集合

七時三〇分 船宿

四、参加費 一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣り具 竿（負荷一〇・一〇号）リール（小型）錘（十・二十）

六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方 最近は胴付き一本張りの仕掛けで、船下を釣るのが主流である。海底から三十センチ位上までゆっくり探る。

錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸はいつもたまるままで張つておく。

スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆつくり引き寄せながらアタリを待つ。当たりがあつたら軽く合わせ、追い食いをまつ。（エサはイソメを二cmぐらいに切つて使う）

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

※申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

第六回「イシモチ釣り会」のお知らせ 世話人会

イシモチ釣り会は、金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」で行います。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が迎えに来てくれます。

記

一、期日 三月一六日（木）

小雨決行

二、船宿 金沢漁港（黒一丸） 京急金沢八景駅下車車で一〇分

（送迎あり） 電話○四五・七八一・三五九一

三、集合

七時三十分 駐車場 一日（三〇〇円）

四、参加費

一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣具

竿（負荷十・二十号）・リール（小型）・錘（二・三十）

三〇号）

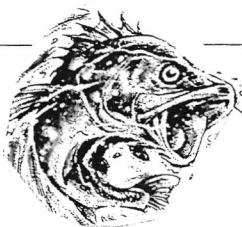
六、携行品

クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方

錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。

数十秒ごとに竿を三〇センチ位上げ誘う。当たりは明確だが、すぐに上げず、追い食いを待つ。



千代田会釣り部通信

2023・5・1

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

釣りクラブ 会長挨拶	町田 静隆	1
第6回 「イシモチ釣り会」の報告	世話人会	2
2023年度 釣りクラブ 年間予定表	世話人会	3
令和4年度 一般会計報告	世話人会	3
第2回 「アジ釣り会」案内	世話人会	4
特別会 「一泊イサキ釣り会案内」	世話人会	4

釣りクラブ会長挨拶

町田 静隆

会長の町田です。本年も昨年に引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。なお、世話人の先生方は、(敬称略) 蒼藤 徳蔵、鳥海 重年、藤本 美男です。

さて、本年度は、三年ぶりにコロナの影響なく、月例の釣り会を実施できそうです。第一回「シロギス釣り会」は八名の参加希望者が出ていましたし、久しぶりの釣行に皆様、期待が高まつていらっしゃるようです。

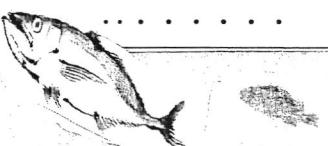
令和五年度の釣りクラブでは、引き続き参加人数の減少に対する対策が必要であると思われます。人数が少なくても仕立て船が出せる船宿の開発として、十人そろわないと難しい、荒川屋や吉野屋を外し、金沢漁港の黒一丸や新山下の広島屋という船宿を開発しました。両者とも五人そろえば仕立ての船が出せる船宿です。さらに今年は、新山下の渡辺釣船店をアジ釣り会の時に使いたいと思っています。(数年前のシロギス釣りで使ったことがあります)今後も会員の皆様のご意見を充分頂いた上で、改善できるところは、来年の新年懇談会までに皆様にお測りで

きる叩き台をお示ししたいと思っております。また、釣り物に関しても、七月、九月の暑い時期の良い釣り物を検討する必要があるのでと考えております。

予定のない一月には、河口湖で温かいドーム船でのワカサギ釣りを追加しました。

今年度も、良い釣り会となりますように、精一杯務めさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

さて、私事ですが、4月から勝浦市に移住しようと思つております。住所は、〒299-15225 勝浦市墨名(とな) 251-3です。電話は携帯の090-1291-518954です。



第六回 「イシモチ釣り会」 報告

世話人会

令和五年三月十六日（木）金沢漁港の黒一丸に仕立てをお願いして

ケースが多く、餌のかけ方を上と下の針で変えて良かつたのではないか等、家路についてから考えたこと。

イシモチ釣りを開催した。参加者は町田・藤本・岩森・市川・田中・鳥海の六人。例年よりも温かい天候が続き、釣行当日も朝のうちは肌寒い時間帯もあつたが、晴天、微風、気温も二十度近くあり絶好の釣り日和に恵まれた。各自、氷をアイスボックスに詰め込んで八時に出港。まもなく船長の「ここから走りますよ」の声がけとともにスピードが増す。波しうきがあまりかからないほど穏やかな海だ。期待が膨

今回の釣行で非常に珍しいというか今まで経験したことがないのは外道がゼロということ。いつもは底もののカサゴなどいくつか混じつて当たり前でした。が今回は初めてのケースでした。黒一丸の船長さんが漁場を知り尽くしていたのかもしれません。帰り際に黒一丸の女将さんからいただいた旬のメカブはいいお土産になりました。黒一丸の皆さん、お世話になりました。有難うございました。

帰宅後に早速調理に取りかかる。六尾程をさばいて汁に漬ける。この二月に椿祭りで大島に行つた時に白身魚のべつ甲漬けが美味しかったのでつけ汁を買つてきた。そのつけ汁に漬けて食べたのだが最高にうまい。数匹を焼き物に、残りは開きにして干物と冷凍保存に。メカブは旬のこの時期、なかなか美味しい。湯がいてから包丁で叩いて、ところどころにして食べる。卵を落として混ぜてもなかなかの美味。コロナ禍も少し遠のいた感があり、心身ともに穏やかな釣行ができることに感謝！

(記) 鳥海重年

八 平均十四

釣り続けたい気持ちは強かつたが、午後一時三十分に納竿。港へ戻る。黒一丸のスタッフは四〇尾以上釣り上げたようだ。釣りのテクニック等を最初に聞いておけばよかつたと反省しきり。餌のイソメはチヨン掛けがいいのか房掛けがいいのか、アタリがあつたらアワセを入れた方がいいのかそのまま放つておけばいいのか、誘いのテクニックな

ク等を最初に聞いておけばよかつたと反省しきり。餌のイソメはチヨン掛けがいいのか房掛けがいいのか、アタリがあつたらアワセを入れた方がいいのかそのまま放つておけばいいのか、誘いのテクニックなど…。少しは自分でも試してはみたもののほつきりした優劣は感じられなかつた。ただ上の針と下の針では予想した通り下にアタリがある



(右舷) 藤本・市川・田中
(左舷) 町田・鳥海・岩森



※釣果　イシモチ　：　藤本二十二　岩森十八　平均十



A medium shot of a person wearing a blue baseball cap and dark sunglasses, smiling at the camera. They are standing on a boat's deck, with the ocean visible in the background. The person is wearing a dark jacket over a light-colored shirt.

第二回 「アジ釣り会」案内

世話人会

令和五年度 第二回「アジ釣り会」は、新山下の渡辺釣店で実施したいと問い合わせましたが、時間が合わず、金沢漁港の黒一丸に、戻して実施します。

記

一、期日 五月十二日（金） 小雨決行

二、船宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車 車で十分
(送迎あり) 電話 045・781・0691

駐車料

一日三〇〇円

三、集合 七時三〇分 電車の方は、荒川屋に向かう途中の元「ロ

ーソン」(今改裝中で取り壊しています) 七時二〇分

四、参加費 10,000円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー、昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル、

六、釣り具 竿(LT用、貸し竿有り)、小型リール、竿掛け、イワ

シミンチ用コマセ籠(三十号) 中型片天秤、ゴムケツ

ション(三十センチ)

七、釣り方 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセがごにミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、

二m巻き上げてコマセをまく。さらに一m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。

時別会一泊イサキ釣り会 案内

世話人会

前日には、船宿の温泉に入り、おいしい夕食会が楽しみです。春のイサキ釣りは、抱卵期で食いが活発であり、過去には八十数匹を釣り上げたこともあります。豊漁が期待できます。

記

一、日時 六月十一・十二日(日・月)

二、集合 東京駅 九番 踊り子一一五号二号車後ろの指定席

東京駅(十二時00分) → 横浜(十二時二十四分)

↓小田原(十三時一分) ↓下田(十四時四十八分)

下田駅から送迎あり。

三、参加費 二三〇〇〇円(宿泊費、乗船料、仕掛け、氷代) -4-

四、携行品 クラーボックス、一二日の朝食、飲み物、他

五、釣り具 竿(負荷八〇号)、電動中型リール(電源は船に有)

サニーかご八十号(無料貸し出し有) 中型天秤

ゴムケツション(三ミリで一メータ)

指示されたタナまで下ろし、コマセをまいてアタリ

を待つ。アタリがなければ、一m巻き上げてコマセをまく。同じ動作を繰り返し、上のタナまで行う。アタリがあつたら負い食いを待ち、ゆっくり巻き上げ、丁寧に取り込む。

※ 同封のハガキで申し込んでください。

※ 申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

※ 町田会長にキス釣り中止のお詫びの原稿をいただきまし
たが 紙面の都合で掲載できません。(編集委員)

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

2023・7・1



NO, 208

編集 齊藤徳藏

会長 町田静隆

魚・貝類のクイズ（再掲載）	藤本美男	1
第2回 「アジ釣り会」 報告	世話人会	2
第3回 「LT五目釣り会」案内	世話人会	3
新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ	世話人会	3
第2回 「アジ釣り会」案内	世話人会	4
P.1 「魚・貝類のクイズ」解答・解説	世話人会	4

上の魚や貝の名前の語源は、下のどちらが当てはまるか、()に記入して下さい。(解答・解説は4ページ下)



魚・貝類のクイズ

藤本

鮫	浅蜊	鰯	秋刀魚	鯖	鰈	蜆	鰐	鯷	()
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
早目	漁る貝	弱し	狭真魚	青葉	朝地	縮貝	堅魚	眼黒	大威
狭目	浅利	岩生	參魚	小齒	味	潮地味	活魚	間黒	平魚

※このクイズは206号に掲載したものです。前回解答・解説をいただいたのですが紙面の都合で掲載できませんでした。そこで問題を1ページ、解答・解説を4ページ下に掲載しました。お楽しみください。

第二回 「アジ釣り会」報告

世話人会



前日の午後、釣り会の準備をしようと思っていたが、雷と豪雨で計画どおりに出来ず（糸が細い小型のリール・細くて柔らかい竿を用意）不安でいっぱいでした。

五月十二日朝、いつもより早く船宿に向かって車で家を出たが、途中、何回も渋滞があり予定より遅く「黒一丸」に着いた。

七時二十五分、車で五名・送迎で一名、計六名が集合。乗船者名簿に記入・クーラーボックスに氷を入れ・救命胴衣を身に着け乗船。

七時五十分、出船。雲は少しあつたが晴天で、風も波も弱く、絶好の釣り日和。船は八景沖に向かつて進む。釣り船は、いつもより少なく遠くに二隻ほど見えた。

八時十分、船長の指示「目的地に着きました。釣り場を探すので、釣りが出来るように、準備をして下さい」。私は手巻きリールでしたがが、電動リールの方も何人かおりました。

八時二十分、船長の合図「底から二m」で第一投。



アタリが無く、船は移動。風や波が少し強くなつた。

八時四十五分、結構強い引きがあり、小型のアジをゲット。アジに混じつてカサゴやシロギスもゲット。

船長の指示「底の変化や流れの速さで、底からの距離が変わるので、何回も底に下して、底から二mをしつかり取つて下さい」。

底から一m・二m・三mで中型や小型のアジが掛つた。

十時五十五分、船は移動。風も波も弱くなつた。近くで米元丸（以前よく利用した）が釣行していた。

十時五十五分、アジやカサゴをゲット。船長の指示「エサのイソメが長いのでアジに逃げられている。エサは二cmくらいに切つて下下さい」。コマセを撒いて、リールを巻き上げ、しばらくまつた後、底まで下すときにアジが掛けやすかつた。細くて柔らかい竿だから海面までに何回も強い引きがあり快感でよかったです。

十一時三十分、船長の指示「熱くなつたので、水分を十分取つて下さい」。右舷でも左舷でもアジに混じつてアマダイをゲットしている。根がかりしたのか、リールが巻けなくなり、強く引き上げると糸が細いのか、天秤から下が切れてしまった。船長にお願いして、天秤とコマセ籠を借りた（借り料二〇〇〇円取られた）。

十一時五十分、船は移動。ボートで釣りをしているのが二隻見えた。午前中はアジに逃げられなかつたが、午後は

十三時〇〇分、沖あがり。

- 2 -

家に着くと、すぐに近所（新鮮で美味しいと喜んでくれる）に配つた。アジとシロギスは刺身で・カサゴは酒・みりん・つゆの素で煮て食した。残つたアジは、妻の要求「食べたい時にいつでも食へられるよう」に三枚にさばいて・酢に漬けて下さいで保存した。

好天・好漁、そして皆様とお会い出来てストレスが解消できました。

釣果（アジ） 田中二八 藤本二六 岩森一六 平均一六
外道（船中） カサゴ一二 イシモチ五
右舷 町田 市川 藤本
左舷 田中 鳥海 岩森

第三回 「LT五目釣り会」 案内

世話人会

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ 世話人会

LT（ライトタックル）で、この時期釣れる魚をいろいろ狙います。アジの大型や、運が良ければアマダイの良型が釣れることがあります。本命が決まっていない釣りだけに、何が釣れるかの期待は大きいです。

八月は、海は暑いので、涼しい渓流釣りを計画しました。貸し竿を利用するので、クーラーボックスだけを持参すればOKです。ニジマスを釣った後、さばいて、大きなお風呂に入浴（タオル持参）し、昼食を兼ねて懇談します。

記

一、期日 七月十一日（火） 小雨決行

二、船宿 腰越 「秋田屋」 電話〇四六七・三一・二二八九
・江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

三、集合 小田急「片瀬江の島」七時二十分 送迎あり

四、参加費 一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）
五、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子・タオル
六、釣り具 竿（負荷四十号）・中型リール・中型片テンビン・竿掛け・サニー籠・おもり四十号

七、釣り方 左に示した対象魚の水深でコマセをまき、アタリを待つ。

・表層付近・ワカシ・ソーダガツオ・カツオ
底から十五メートルまで・イサキ・イシダイ・アジ・
サバ・底から三メートルまで・マダイ・クロダイ・
アマダイ

記

一、期日 八月一日（火） 小雨決行

二、釣り場 大月（金の森山荘） 山梨県大月町真木六一八八

三、集合 中央線 高尾駅 七時四十七分→大月駅 八時二十八分
大月駅改札出口付近 八時四〇分

四、参加費 七五〇〇円（マス釣り・貸し竿・エサ・仕掛け・氷・
入浴・食事・ビール代込み）新入会員は五〇〇〇円

五、釣り具 貸し竿（負荷一〇〇二〇号）

六、内容
・ニジマス釣り 九時十分～十一時三十分

・マスさばき、入浴 十一時四十分～十二時十分
・食事・懇談 十二時三十分～十三時三十分
十三時四十分 送迎バスで大月駅に向かう。

※ 申し込み 同封のハガキで申し込んでください。（イナダ・ニジマスも）
サバ・底から三メートルまで・マダイ・クロダイ・
アマダイ
指定されたダムで釣る。（一〇匹ぐらい放流してくれ
る）ハリにエサ（イクラ三粒・またはブドウ虫一匹）
をつけ、底をたたくようにして上流から流す。よどみ
やたまりで釣れることも多い。釣れなくなったら、上
流、下流の人のいない場所で釣る。

第四回「イナダ釣り会」のお知らせ

世話人会

魚・貝類のクイズ（解答・解説）

藤本

ブリで四〇センチ位に成長したものをイナダといいますが、引き強く、食べておいしい魚です。回遊に出合うとたくさん釣れるので楽しみです。

記

一、期日

九月一五日（金）

小雨決行

二、船宿

腰越「秋田屋」電話〇四六七・三一・一二八九

江ノ電 「腰越」徒步七分で腰越漁港へ

三、集合

小田急「片瀬江の島」七時二十分 送迎あり
七時三十分

四、参加費

一万二千円（乗船料・仕掛け代・エサ・水代込み）

五、釣具

竿（負荷五十号）または手釣り用具・リール（小型電動）・中型天秤・ステカン五十号・ゴムタッショ

ン（二ミリ×五十センチ）

六、携行品
七、釣り方

①竿釣り・船長の支持するタナまで下ろし、竿いっぱいしゃくり上げ、アタリを待つ。上げた分までリールを巻き上げ、またしゃくり上げ、アタリを待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、巻き上げてコマセを詰め替える。

②手釣り（八の釣方）・右手で幹糸を手操り上げ素早く左手に持ち替え、幹糸を掴んで手操り上げる。

鮪は（平魚）・「延喜式」に「タイは平たい魚で（平魚）」とある。

鮑は（眼黒）・「物類称呼」に「マグロはその眼の黒き也」とある。
鮟は（堅魚）・「松屋筆記」に「カツオは堅魚の義にて、型魚干の堅きに起れる名也といへり」と記している。

鰯は（縮貝）・シジミは「縮貝」の義で、表面がちぢんでみえる。

鰈は（味）・「東雅」には「アジは味也。其の味の美をいふなり」

鮐は（小齒）・「日本釈名」に「この魚他魚に変わりて歯小也」

秋刀魚は（狭真魚）・狭とは細長いこと、体が細長いことによる。

鰯は（弱し）・「東雅」に「イワシは弱也。水を離れぬれば、たやすく死するを言ふ也」と記している。

浅蜊は（漁る貝）・「新六帖」に「伊勢の海女の汐干にあさり求め…」

鮫は（狭目）・「和訓栞」に「サメは（狭眼）の義なり。体よりは眼のいたつて細きものなり」と記している。



2023. 10. 1

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

世話人会報告	・・・・・	世話人会	1
氷川国際マス釣り場・体験報告	・・・・・	藤本美男	2
第3回 新入会員歓迎会「ニジマス釣り会」中止のお詫び	・・・・・	世話人会	3
第4回「イナダ釣り会」報告	・・・・・	世話人会	3
第48回「アジ釣り大会」案内	・・・・・	世話人会	4
第5回「アマダイ釣り会」案内	・・・・・	世話人会	4

第一回世話人会報告

世話人会

令和五年度、第一回目の世話人会が、九月二日(土)に退職校長会事務局で行われた。世話人会とは、毎年二回、九月と一月の第一土曜日の十時から行われており、年間の釣り計画の予定の決定や、懇談会の企画、それから一般会計(会員からの年間費の運用)と、特別会計(毎回の釣り会の会費の運用)を世話人全員で確認することを目的として行われている。

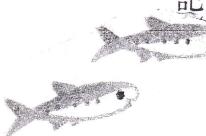
今回の世話人会では、現時点までの一般会計と特別会計の執行状況の確認がまず行われた。出納簿と領収書の照らし合わせを行い、適正に執行されていることを確認した。

次に、営業中止となつた「金の森山荘」の代りのニジマス釣り場をどうするかを検討した。それから、九月に予定しているイナダ釣り会について確認した。

また、新しい世話人の募集について相談した。次回以降の釣り会で、世話人から声を掛けますので、ぜひご参加いただきたいと思っております。

最後に、十月に予定されていた第四十八回「アジ釣り大会」の企画・運営について協議した。数年前からは、金沢漁港の黒一丸で実施しており、今年も引き続いて実施することにした。会報の「アジ釣り大会のお知らせをご覧の上、多くの会員の参加をお願いいたします。

町田(記)



氷川国際ます釣り場・体験報告

藤本



八月のマス釣り会が会場の閉鎖で中止になり、長男・長男の長女(二十二歳)と三人で氷川国際ます釣り場に行きました。

七月三十一日、車で八王子・滝山街道・青梅街道・奥多摩駅前を通り九時四十分釣り場に到着(電車の場合は奥多摩駅から徒歩五分)。受付で、一日券三、六〇〇円、貸し竿三〇〇円を三人分支払い、そしてエサとしてイクラ三〇〇円・ブドウ虫六〇〇円を購入した。

下の川に降りると、家族ずれの釣り人が大勢いた。指導員が「先ほど放流した二六番と二七番の釣り場でどうぞ。周りは、昨日放流したところですがよければどうぞ!」と言わされた。(放流は午前九時半と午後一時の二回)そこには、何人かの釣り人が入っている。イクラの容器を開けてみると、量が予想の半分ほどで少なかつた。

私はイクラをエサで、長男と孫はブドウ虫をエサで、空いている所で、釣り開始。私がいちばん最初にニジマスを釣り上げた。家族も一般の釣り人も時々釣れる状況であった。

私も長男も孫も、根掛かりして針が切れてしまい、持参したマス針で釣りを続けた。針が少なくなつたので、受付に行って、七本入りのマス針を、二〇〇円で購入した。

二六番・二七番に釣り人が多くなつたので、真中の陸地の反対側の流れの三〇番・三一番に指導員が特別に放流をした。行ってみると魚の群れが川の中で見える。イクラが少ないので、ブドウ虫をエサで投入したが、全然釣れない。よく見ると、魚の群れのそばをブドウ虫のエサが来てても、逃げたり・知らんかをしきている。イクラをエサにして

投入すると入れ食い状態。しかし、イクラを使い切つてしまつた。

長男と孫に「イクラを貰つて、釣りを続けようか」と聞くと「もう十一時四十五分、止めて食事をしよう」と言つて、釣りは終了。

川から上がるとき、「目の前で、ニジマスを焼いています。「ニジマスをサバクところがありますか」と聞いてみると、「ここをまつすぐいつたところにあります」と答えてくれた。よく見ると、「一匹二〇〇円で焼きます」と書いた張り紙がある。孫が食べたいと言うので、四匹お願いした。「一〇分位で焼けるので、お呼びしますから、八番のカドをお持ちください」と言わされた。

一階上の食堂に行き、私と長男は煮込みそばを・孫は煮込みうどんを注文し、席で待っていた。「番号札八番の方、ニジマスが焼けましたので、一番の受付に来てください」と放送があり、下の焼き場に行き、串で刺した四本の塩焼きニジマスを受け取り、上の食堂に戻り、そばやうどんと一緒に、私と長男は一匹・孫は二匹食べた。美味しかつた。

車で、長男と孫は横浜の実家へ・私は多摩市の家に帰つた。
ニジマス二匹をサバキ、塩をふり、一時間以上置き、夕飯で塩焼きにして食べた。口うるさい妻も「川魚なのに臭みも無くおいしい」と喜んでいた。残りのニジマスは、翌日、チヤンチヤン焼きで食した。



ACCESS ●アクセス

■ルルマ／中央自動車道・八王子ICから、国道411号線(滝山街道、青梅街道)で奥多摩町へ、「奥多摩駅」信号を右折、奥多摩駅前を通り「日原川」の下が現地。P/50台、無料。

●電車バス/JR青梅線「奥多摩駅」から徒歩5分。

第五回 「イナダ釣り会」 報告

令和五年度 「ニジマス釣り会」 の中止についてのご説明とお詫び

世話人会

八月二日に予定をしていました「ニジマス釣り会」中止に至った経緯をご説明させていただきます。七月初旬に「金の森山荘」に予約の電話をしたところ、「大雨で壊れて、管理釣り場は部分的にしか使えない。」との返事が返ってきたので、おかしいと思い、「毎年そちらで釣りと昼食をお願いしていた千代田会ですが。」というと、「今は食事とか宿泊のほうはやつていないので。」という返事でした。

おそらく、コロナ禍の間に営業が立ちいかなくなつたのか、ほぼ営業規模を縮小してしまつたのではないかと思われます。ということで、今年は代替案を検討する時間的余裕もなく、仕方なく中止とさせていただきました。期待されていた会員の皆様には、大変申し訳なく思つております。

別紙にもありますように、来年度の「ニジマス釣り会」については、藤本先生からの代替案も出ています。来年の「研究・懇談会」の時にでも、新たな提案として、お示しできると思つております。

来年度は、皆様の振るつてのご参加をお待ちしています。

(町田)

釣座
右舷 田中 佐藤（息子） 佐藤 藤本
左舷 市川 町田 鳥海
田中 六
釣果
田中 六
イナダ 佐藤（息子） 十二 藤本（カツタクリ） 九
平均 五・七

町田（記）

九月一五日（金）に、「イナダ釣り会」を腰越の秋田屋で実施した。今年の残暑はこの日も続いていて、九月半ばと思えないほど暑い日であった。

当初の予定通り、七時半過ぎに出船。江の島の裏側ほぼ四十メートルという近場であつた。

午前十時くらいまでは、殆ど食いが立たず、コマセを撒いてはまたつめなおすという繰り返しであつた。その後、回遊の群れが回つて来たのか、続けてヒットする。ただこの時期のイナダにしては良型で、何度も竿を持っていかれそうになるほど引きが良かつた。最後はタモを使って上げるのだが、テンбинが見えるところまで巻くのは大変であつた。一本続けてあげると、腕が上がらないほどで、暑さのせいもあつて、休みやすみ釣つていたのだが、五四上げたところでもういいやという気分になつたほどであつた。全体としては、イサキの数はそう伸びなかつたものの、外道にカンパチやサバも混じるなど、良い釣り会であつた。

第四八回 「アジ釣り大会」案内

世話人会

今年も千代田会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ金沢漁港の「黒一丸」です。車の方は金沢漁港に集合、電車の方は、金沢八景を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」(工事中)の前に七時二十分集合で、若船長が迎えに来てくれます。

記

一、期日　十月十三日（金）　小雨決行

二、船宿　金沢漁港「黒一丸」　京急金沢八景下車、車で一〇分（送迎有）　電話〇四五・七八一・〇六九一

駐車料　一日三〇〇円？

三、集合　七時三十分　電車の方はローソン前七時二十分

四、参加費　一万円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、携行品　クーラー、昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル

六、釣り具　竿（E.T用、貸し竿有り）中・小型リール、竿掛け

イワシミンチ用コマセ籠（三十号）中型片天秤

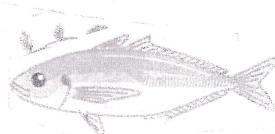
ゴムクツーション（三十センチ）

七、釣り方　イカタンや青イソメの餌を付け、コマセ籠にミンチ

を入れたら投入、錘が底に着いたら、糸ふけをとり二メートル巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。

八、表彰　アジの数で一位～三位、大物賞三名　アジ以外の

魚種



※

申し込み　同封のハガキに六十三円切手を貼り、申し込みください。（アジ釣り大会も同じ）

第五回 「アマダイ釣り会」案内

世話人会

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣ることは難しい魚種ですが、その分釣り心をそそる魚です。三枚におろして昆布で一晩締めた刺身のおいしさは格別です。

記

一、期日　十一月十日（金）

二、船宿　腰越「秋田屋」

電話　〇四六七・三一・一二八九

三、集合　江ノ電「腰越」　徒歩七分で腰越漁港へ

七時三〇分

四、参加費　一二,〇〇〇円（乗船料、仕掛け代、エサ、氷代込み）

五、携行品　クーラー、昼食、飲み物、帽子、雨具、タオル

六、釣り具　竿（負荷五〇号）中型リール（電動があれば望ましい）中型片テンбин、竿トケ、錘五十号

アマダイ釣りは、コマセを使わず、片テンбин仕掛けで釣る。沖アミのエサをつけ投入。海底近くを狙うので、錘が着底したら、ハリスの分だけ錘を上げ、海底を叩くようにおろして誘う。

申し込み　同封のハガキに六十三円切手を貼り、申



千代田会釣り部通信

NO. 210

2023. 12. 01

編集 齊藤徳藏

会長 町田静隆

令和5年度・秋の叙勲について	・・・・・	町田静隆	1
第48回「アジ釣り大会」報告	・・・・・	世話人会	2
特別会「1泊ワラサ釣り会」案内	・・・・・	世話人会	3
第6回「ワカサギ釣り会」案内	・・・・・	世話人会	3
釣り部「研究・懇談会」案内	・・・・・	世話人会	4
第5回「アマダイ釣り会」中止のお詫び	・・・・・	世話人会	4

令和5年度・秋の叙勲について

町田
静隆

さる十一月十三日の月曜日、椿山荘において、文部科学省管轄の叙勲者への勲章伝達式に参加してまいりました。

というのも、都立松原高校の校長在職中に、「全国定時制・通信制高等学校長会」の理事長というものをやつておりました。この職は、文部科学省の叙勲対象となつてゐるみたいで、七十を過ぎると全員がいただけるようなのです。

当日の朝十時に、飯田橋の「ホテルメトロポリタン エドモント」に十年ぶりに着ることになるモーニングを抱えて乗り込み、家の貸衣装の色留袖の着付けとヘアメイクを、美容室の前で一時間半ほど待っていました。家の着付けが済むと、タクシーで椿山荘へ向かいました。

一時五十分になると、伝達式が始まりました。文部科学大臣のお祝いの挨拶から始まり、叙勲者や褒章受章者代表のお礼の挨拶がありました。今回紫綬褒章を受章した歌人の俵万智さんが挨拶で一首読んだのが印象的でした。そのあと、一人一人に勲章を渡すのですが、叙勲者が七百人近くもいて、なかなか番が回つてしまふ。ここでも一時間以上待たされました。その後、バスに乗り込み皇居に拝謁に向かうのですが、バスも十一号車ということで、なかなかお呼びがかかりません。やつと皇居に着くと、他の省庁の拝謁が伸びているといふことで、またまたバスでの待機です。ようやくバスを降りて、豊明殿の椅子に座り、天皇陛下のご出場を待ち、お言葉を賜りました。その後は、乗車のバグごとに、記念撮影をし、バスで東京駅丸の内にて解散です。

そこでまたタクシーを拾い、エドモントホテルに戻りました。家内と二人で記念写真を撮影してもらい、貸衣装をフロントに返すと、ようやくすべてが終了です。さすがに疲れ果てて、飯田橋から高島平までタクシーで帰りました。

今考えると、一生に一度しかできない体験ができ、よかつたかなと思つております。



第四八回 「アジ釣り大会」 報告 世話人会

第四八回アジ釣り大会である。一年に一回だけの大会が四八回を迎えるのである。凄く歴史を感じる。昭和五十年釣りクラブ発足当時は七十八名の会員だったそうである。代々の先輩会員に深く敬意を表したい。

十月十三日金沢八景駅に下りる、久し振りの釣りで気持ちが高ぶる。迎えの車で町田会長と金沢漁港に向かう。

殆どの方が見えていた。総勢六人である。この大会には必ず参加されていた何人かの先輩会員が身体の具合が悪い等の理由で見えていない。寂しさを感じる。

開会式で町田会長より、挨拶、藤本前会長より、釣り大会のルールの説明がある。

七時五十分出船、八時十分ごろ釣り場に着き、釣り開始である。私も勇んで海中に入れる。底に着いたと思った途端グレーツと引きがある。二十cm超のアジが上がってきた。次も同じようにすぐ引きが来てアジが釣れた。『もしかすると、今日優勝するのでは』とバカなことが頭を過る。風と波が強く、糸の絡みを直すのに四・五分かかる。ペースが乱れてきた。隣の藤本会員は同じペースでどんどん釣り上げている。私にも強い引きがきた。大物か、ダブルかと思い、勇んで上げると大きなフグである。その後、フグにハリを取られてしまつた。何回も何回も同じことが続いた。針が無いまま釣っているぐらいである。他の人にはこのよ

うな様子は全くない。新しい針に取り替えながら続ける。時間だけが過ぎ、釣果がない。一時半に納竿した。

閉会式と表彰式を行つた。成績発表（藤本）

田中五二 鳥海二四 町田一九

藤本三四

今年の入賞者（昨年の入賞者は規定により

入らない）

一位田中 二位町田

三位齊藤

大物賞 市川 鳥海

優勝の田中会員の感想

「銀のハリにしたのが良かつたのかも知れない。」会員の一人が呟いた。

「田中名人の実力だよ」

全員が頷いていた。

釣座 左舷 齊藤 藤本 市川

今回も大変楽しかつたが、参加者が少なかつた。先輩会員に元気になつていただくとともに、会員を増やすことが急務である。伝統ある【千代田会釣り部】の隆盛を取り戻したい。

齊藤徳記



特別会「一泊ワラサ釣り会」案内

世話人会

第六回 「ワカサギ釣り会」案内

世話人会

十二月はワラサ（六十cm級）の回遊が期待できます。運悪く回遊していない場合は、いつでも大量のイサキ釣りに変更します。

昨年は、参加者少數のため、やむなく中止しましたが、改築なつたブルー爪木での、おいしい夕食と気持ちいい温泉付きです。

一、日 時 十二月十七・十八日（日・月）
記

二、集 合 東京駅 九番線 踊り子一二五号 一号車指定席の
なるべく後部座席

東京駅（十二時〇〇分）→横浜（十二時二十四分）

↓小田原（十三時一分）↓下田（十四時四十八分）

三、参加費 二万四千円（宿泊費、乗船料、仕掛け、氷代）

四、携行品 クーラーボックス、十八日の朝食、飲み物、他

五、釣り具 竿（負荷九〇号）、電動中型リール（電源は船に有）

サニー籠百号（無料貸し出し有）大型天秤、

ゴムクツーション（三ミリで一メータ）

六、釣り方 指示されたタナより、一m下ろし、コマセをまいてタナまで巻き上げる。そこでコマセをまいてアタリを待つ。アタリがあつたら、ゆっくり巻き上げ、網ですくう。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。



寒い一月は、温かいドーム戦でワカサギ釣り会をやることになりました。クーラーボックスだけで参加できます。

一、日 時 一月二三日（火）
記

二、場 所 河口湖ドーム船・浅間丸〇九〇一八八七八・四四二三一
山梨ハイヤー ○五五五・一三一・一八〇〇

（行き）高尾（七・一五）→河口湖（九・一四）タクシード河口湖大橋下駐車場。ボートでドーム船へ

（帰り）河口湖駅（二三・三〇）→大月（一四・三〇、一四・四八）→高尾（一五・二六）

三、参加費 三千円（乗船料、釣り道具、エサ、タクシー代込み）

四、携行品 防寒服、クーラー（氷持参）、昼食、飲み物、タオル。

五、釣り方 ①エサを付け、投入し、錐を着底させる。五センチ位持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがなければ、竿先を十センチ位の幅で上下させる。（シェイキング）③誘いを十秒位続けたらピタッと止め、食いつくタイミングを与える。④アタリがない場合は、タナを十五・二十センチ上げてシェイキングを繰り返す。

六、料 理 そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

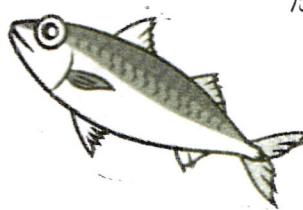
※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

町田 静隆

会場は、池袋南口（東武デパート南口）の「IKE・BIZ」（元の勤労福祉館）です。二年間コロナ禍で実施できず、昨年は参加者六名でしたが、なかなか盛り上がった会となりました。

内容は、

- ・今年の釣り状況の報告
 - ・会員の皆様からの一言
 - ・魚貝類のクイズ（一位から三位、商品あり）
 - ・来年度の釣り会への要望等
- の話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまいしますので、会員の皆様のさまざまなお意見を伺いたいと思つております。



記

編集委員より再度お願ひ

コロナ、悪天候のため釣り会の中止が多くて、原稿が集まりません。その都度町田会長、藤本前会長にお願いして何とか発行しております。このままでは廃刊の恐れもあります。以前もお願いしましたが、釣りに関する」と、どんなことでも構いませんので原稿をお送りください。（例 釣りが好きになつたきっかけ・釣り自慢・その他・・・）一月末までにお願いします。ストックしておき順次掲載いたします。二百十号まで続いた【千代田会釣り部通信】を廃刊するわけにいけません。ご協力お願ひします。

※申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

一、日 時 令和六年二月十日（土） 十三時～十六時
二、会 場 IKE・BIZ（池袋・南口より徒歩十分）
電話〇三一三九八〇一三一三一
三、参 加 費 二千五百円（弁当、飲み物、お菓子代等）
※当日、会場で徴収させていただきます。